

勤務間インターバル制度 導入促進シンポジウム



企業において、従業員の健康管理やワーク・ライフ・バランスの確保は重要な課題です。本シンポジウムでは、2019年4月から企業の努力義務となっている勤務間インターバル制度※について、その重要性や企業が取り組むことによるメリット、取組を進めるためのポイント等について、先進事例とともに解説します。

※勤務間インターバル制度とは、終業時刻から次の始業時刻の間に一定時間以上の休息時間を確保する仕組みです。

視聴
無料

日時 2022/2/18(金) 13:30~16:00

実施方法 ・Zoomウェビナー
・YouTubeライブ

同時
配信



プログラム

🕒 13:30~13:35 開会・ご挨拶

第一部「勤務間インターバル制度」の導入に向けて

🕒 13:35~13:55 基調講演

小林 徹氏

公立大学法人 高崎経済大学 経済学部 准教授

「労働経済学から見る勤務間インターバルの必要性と考えられる効果」



慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。独立行政法人労働政策研究・研修機構を経て、2018年より現職。労働経済学の理論およびデータを用いた労働市場に関する様々な課題に対する研究に取組む。

🕒 13:55~14:40 事例発表「先進企業に学ぶ勤務間インターバル制度の活用方法」

- 東急建設株式会社
- ジヤトコ株式会社
- 社会福祉法人あいの土山福祉会 エーデル土山

すでに勤務間インターバル制度を導入している企業・社会福祉法人3社より、制度導入のねらいや具体的な制度内容、導入・運用時の工夫等について事例を発表いたします。

第二部パネルディスカッション「勤務間インターバル制度の効果的な運用に向けて」

🕒 14:50~15:55 基調講演や企業の取組紹介を踏まえ、「勤務間インターバル制度設計時の工夫」「勤務間インターバル制度運用時の対応」「勤務間インターバル制度の効果」などについて、下記コーディネーター、パネリスト、事例発表企業3社でご議論いただきます。

【コーディネーター】

今野 浩一郎氏

学習院大学名誉教授・
学習院さくらアカデミー長

企業の人的資源管理からマクロの雇用問題まで、人材に関わる分野を幅広く研究し、数多くの公職を歴任。主な著書として、『マネジメント・テキスト—人事管理入門(第3版)』日経BP日本経済新聞出版本部、2020年等がある。



【パネリスト】

高橋 正也氏

独立行政法人労働者健康安全機構
労働安全衛生総合研究所
過労死等防止調査研究センター センター長

1990年より労働省産業医学総合研究所(現・労働安全衛生総合研究所)に勤務し、2000年に群馬大学医学部で医学博士号を取得。労働安全衛生総合研究所上席研究員、同部長を経て、2019年4月より現職。



